

生涯学習センター改修工事 基本設計プロポーザル評価基準

1 基本設計の目的

生涯学習センターは、町民の生涯にわたる学習活動を支援し、町民文化の充実振興のための施設として平成9年度に完成し、23年が経過しています。

この施設については、平成30年度に「公共施設レビュー」により、施設の管理運営を見直すことへ提言を受けています。さらに昨年度、施設改修のためのワークショップが開催され、参加町民から多くの要望、提案もを受けています。これらの経緯から、公共施設レビューの提言やワークショップの要望、提案を生かすことを考えた改修工事の基本設計を行うものです。

2 基本設計の範囲

生涯学習センターの各階の改修、模様替え工事の基本設計です。

改修方針としては、今年度、昨年度のワークショップ、平成30年度の公共施設レビューにおいての提言、要望を取込んだ改修とします。また、ワークショップの開催時には、参加をし、町民やワークショップ運営会社のデザイナーの意見、助言を取込み、設計に反映させます。

3 評価基準・項目（100点満点）

（1） 基本方針及び業務方針とテーマ①、②、③（技術的な提案）について

○業務の基本方針・実施方針

・業務に対しての考え、理解度、積極性や業務を遂行するための設計チームの編成、業務実工程の提示、実現性のある提案であるか。

○3つのテーマ

・独創的な考え、維持管理のし易い提案であるか、また年齢男女を問わず使いやすい施設の提案になっているか。

・テーマを理解した提案であるか。

・提案が、実現性が高いものであるか。

○基本設計料の見積の評価

（2） 配置技術者の経験、資格について

○管理技術者（1級建築士であること）、主任担当技術者の業務経験

・経験した職務（管理技術者、主任担当技術者、担当技術者のいずれかを経験しているか）

○主任担当技術者（建築構造、建築意匠、機械、電気担当）の保有資格

ただし、建築の主任担当技術者については、建築士であること。

（1）、（2）の合計点は100点

選定委員は、5名で評価の合計点は、500点です。

4 注 意

- 1） 基本設計料の労務費の単価については、国土交通省公表の「設計業務委託等技術者単価」

を用いてください。

- 2) 提案者が、特定できる記述、表現は行わないでください。
- 3) 上限額を上回る基本設計料見積の提案者は、失格となります。